

第9号 ～響の杜～

ご意見・ご要望はこちらに
お願い致します。
〒260-0802
千葉県千葉市中央区川戸町 92-1
TEL 043-310-6001

園長のつばさ

「ひまわりの家」開所報告&新曲発表

園長 渡部靖久

「ひまわりの家」開所報告

開園してよいよ5年目に入ります。4年間、試行錯誤の毎日でした。ようやく施設の文化、風土が形になってきたかなと思います。

この春、地域小規模児童養護施設「ひまわりの家」がスタートします。

千葉みらい響の杜学園は暮らしの学舎ですが、ひまわりの家はお家です。

そこにはおじいちゃん、おばあちゃん、お父ちゃん、お母ちゃん、小姑がいます。

ちなみにおじいちゃん、私、園長です。そして子どもが6人いて、楽しい大家族を作ります。

時々ですが隣のおじさん、おばさん（響の杜職員）が遊びにやってきました。

響の杜から走って三十秒の距離なので、近所づきあいはいしつかりやります。

待望の夢の対面キッチンなので、普通のお家のように調理しているところを子どもたちに見せられます。そして一緒に食べながら、少人数での会話を楽しまします。

子どもたちにとって、将来の家庭生活や一人暮らしに役立ててもらいたいです。

新曲発表

二十年前に義理の弟（はぐくみの杜の施設長）と「人力車」というバンドを結成しました。「生きるメッセージコンサート」を全国各地でやりました。

今は学校等で、「命の授業」をやらせていただいています。そのまどめとして久しぶりに曲を作りました。

人が生きるということ
〜僕らが生まれたわけ〜

作詞 作曲 渡部靖久

今 目の前に君がいる

あたりまえのように君がいる

だけどそれは奇跡なんだね

僕と君が出会うことが

すごいということが

今 わかった

お父さん お母さん 二人は出会って

僕が生まれた 君も生まれた

おじいちゃん おばあちゃん

ひいおじいちゃん ひいおばあちゃん

誰一人 命のバトンを落とさずに

僕らに繋いでくれた

そして3億の競争に勝って
僕らは生まれた

神様に選ばれたんだ それは何のため？

そう 人を幸せにするために

そして自分が幸せになるために

戦争、いじめ、自殺はもう嫌だ

そんな世の中にするために

そう 僕らは生まれたんじゃない

人のために生きよう

君のために生きたい

人を愛するため 僕らは生まれた

そう 僕らは人を愛するために

人のために生きよう

君のために生きたい

人を愛するため 僕らは生まれた

僕らは生まれた

今 目の前に君がいる

あたりまえのように君がいる

だけどそれは 奇跡なんだね

僕らもつと君に

優しくしないといけない

ということに

今 気づいた



地域やボランティアの方々のご協力のもと、子どもたちは貴重な経験をすることが出来ています。日々、響の杜の為に力添えを頂き、誠にありがとうございます。少しでもありますが、子どもたちの感想を紹介致します。

こども会クリスマス会

Y・R

僕は、初めてこども会のクリスマス会に行きました。まず最初にカレーと味噌汁とチーズケーキを作りました。そのカレーと豚汁を温めている間に、かるたをしました。皆で作って、皆で食べるカレーはとてもおいしかったです。その後、皆でビンゴゲームをしました。僕は九位でした。金メダルはもらえなかったけど、九位がとれて嬉しかったです。

マゼンタカフェさんのクリスマス会

S・S

まぜんたかふえさんのくりすますすかいにいきました。えほんをよんでもらったり、うたをうたってもらったりしてたのしかったです。あと、くれーぷけーきをたべれうれしかったです。ふれぜんともありがとう。まぜんたかふえさんありがとう。またきてね。

いちえん会さんの新年会

N・W

今年の新年会では、お寿司やサンドウィッチが食べられて嬉しかったし、おいしかったです。その後デザートが出てきて、とても綺麗だったので一分程見つめてしまいました。そして食べ終わったら、マジシヤンの方が来てくれて、マジックを披露してくれました。その中で一番気に入ったものはお金のマジックです。ドキドキしました。新年会、とても楽しかったです。ありがとうございました。



もちつき大会

Y・T

初めて餅つき大会に参加しました。僕は、火起こしをしました。熱かったけど、頑張つて火をおこしました。火がおきた時、とても嬉しかったです。はじめて餅をついて杵が重くて大変だったけど、最後に自分一人で作りました。その後、みんなで作ったお餅を食べました。色々な種類があったけど、僕はきなこもちがお気に入りです。地域のみなさん、ありがとうございました。



凧作り教室・凧揚げ大会

T・R

簡単な凧は作ったことがあったけど、難しい凧作りは初めてでした。とても難しかったけど、地域の方々が僕たちの為に優しく教えてくれたので、カッコいい凧ができました。凧揚げ大会も木に引っかかってしまったけど、それもいい思い出です。本当にありがとうございます。また教えてくれたら嬉しいです。



千児協マラソン大会

A・K

僕は今回が三回目の千児協マラソン大会でした。十二分で六十二位でした。練習をあまりできなかったの、悔しい結果になってしまいました。

次は響伝があるので、悔しさを活かして人一倍練習してタイムを縮めて自分に勝ちたいです。

卒業・卒園

3月に幼児2名、小学生4名、中学生3名、高校生2名が無事、卒業、卒園を迎えました。たくさんの方々を支えて頂き、大きく成長した子どもたちの姿に胸が熱くなりました。

N・M

わたしがようちえんでいちばんたのしかったことは、おえかきです。おともだちとやっておえかきがたのしかったです。ようちえんをさようならするのは、かなしいです。でも、しようがっこうに行くのは、たのしみです。しようがっこうでは、てすをがんばります。

S・A

私は三月十三日で無事中学校を卒業することが出来ました。受験勉強は本当に大変でした。途中で諦めようと思った時もありましたが、応援してくださった方々の顔を思い出し最後まで頑張れました。おかげで前期で無事合格することが出来ました。本当にありがとうございます。高校に行っても、この感謝の気持ちを忘れずに毎日過ごしていきたいと思えます。

K・Y

私が学校で頑張ったことは二つあります。一つ目は勉強です。六年生の勉強は難しかったです。最後まで諦めずに頑張りました。二つ目は友達関係です。私は友達との

距離を考えるのが苦手でしたが、少しずつ頑張って友達がたくさん増えました。私は中学生になっても勉強と友達関係を頑張りたいです。

退職職員紹介・挨拶

3月に6名の職員が退職致しました。どんな時も共に頑張った仲間です。全力で子どもたちと向き合えたのは、地域の方々が支えてくださったおかげです。ありがとうございます。それぞれ進む道は違いますが、これからも応援宜しくお願い致します。

職業指導員 山岸まなみ

職業指導員として三年間お世話になりました。もともと教育関係の仕事をしており、初めての福祉の世界、何をしたらいいかわからず、戸惑い試行錯誤の毎日でした。その中でも特に力を入れた公文は、子どもたちの一生懸命がんばる姿、達成感に輝く顔を見られて、本当に嬉しくやりのある毎日になりました。日々の生活も、行事も、一緒に子どもたちと共有し、職員の先生と協力し合った三年間は、大切な思い出です。本当にありがとうございます。

児童指導員 渡邊琴美

大学卒業時に恩師より「スポンジのような人になってください。」という言葉を頂きました。この言葉を胸に社会へと出て、

響の杜に来たのは社会人三年目の春でした。月日がたち響の杜五年目の春を迎えようとしています。「スポンジ」とは「全てを吸収し絞っては使う」。響の杜で生活してきた日々を吸収し、新しい道に進もうと決めた時に思い出したキーワードでした。この言葉を子どもたちに送ります。【スポンジのような人になってください】

保育士 野村楓

3年間大変お世話になりました。

新卒で響の杜学園に入職し、たくさんの方と出会い、支えられの3年間で人との出会いの大切さ、周りにいる人の大切さを改めて教えていただきました。その時は長く感じる時間もあつたけれど、今思えばあつという間の3年間でした。また、私にとって色濃く、とても大切な3年間でした。一番初めに入職したのが響の杜学園で良かったです。支えてくださった皆様、ありがとうございました。

保育士 志村亮暢

短大を卒業し右も左も分からないまま飛び込んで早1年。この1年で社会人として、保育士として色々な事を学びました。何気ない日常や子どもたちと一緒に作った行事など、どれをとつても響の杜で過ごした1年間はかけがえのないものでした。何事にも全力で取り組む事を胸に新しい道でも頑

張りたいと思います。1年と言う短い間でしたがお世話になりました。本当にありがとうございました。ございました。

保育士 清水佳恵

「児童養護施設に興味はありませんか」「ありません」あの会話から始まり、気づけば三年以上が過ぎてしまいました。

温かな美味しい一日三回の食事、清潔な部屋、元気に「いつてらつしやい」「おかえりなさい」と送り迎える環境、定時に沸いているお風呂等、当たり前のその後ろに大切な気持ちがあることを知り、子どもと泣き職員と泣き、子どもと笑い職員と笑い、今、感謝しかありません。ありがとうございます。巣立ちます。

HPの紹介

ともに育つ会のHPにて、響の杜学園の行事の様子やお知らせなどが掲載されています。「千葉みらい響の杜学園とともに育つ会」と検索し、ぜひご覧になってください。

お礼

響の杜開園以来、たくさんの方々に来園して頂きました。また、数々の寄贈もあり心からお礼を申し上げます。皆様の温かい贈り物を身体と心で受け止め、子どもたちは感謝の気持ちを忘れる事なく日々生活しております。

本来ならば、お名前を掲載して感謝申し上げたいところですが、ご迷惑にならないよう差し控えさせて頂く事をお許し下さい。



編集後記

やわらかな日差しが心地よく感じられる季節になりました。この一年で大きく成長した子どもたちの姿が嬉しく、頼もしさを感じています。

今年度も、子どもたちと過ごす毎日を大切に、共に成長していきたい一人一人と向き合い支援していきたいと思っております。広報誌ですが、職員の手作りにて作成しております。不備がございましたら申し訳ございません。今後とも宜しくお願い致します。

千葉みらい響の杜学園 広報委員会

編集長 川名 茉由乃

広報委員

塚越 理恵 三好 由香子 渡邊 琴美

平成30年度 3月15日

